

一 般 質 問 通 告 書

佐野市議会議長 様

		受付	番号 4
			令和 8 年 8 月 2 5 日
			午後 3 時 3 5 分
議会名	令和 8 年 第 3 回 佐野市議会定例会		
発言者	議席番号 7 番 谷 美枝子		
答弁を求める者 (選択してください)	市長 ・ 副市長 ・ 教育長 ・ 担当部局長		
一般質問時に使用する資料の有無 (選択してください)	あり (資料提示 ・ 資料配付 ・ モニター使用) なし		
大項目 (質問項目) 中項目 (質問細目)	小項目 (具体的な質問内容)		
1. 豪雨災害時における情報伝達と避難行動について (1) 市道の通行止めに関する対応と情報共有について (2) 令和8年7月17日の豪雨における本市の対応について (3) 災害情報の取得について (4) 災害時の避難行動について	① 道路冠水等による通行止めの対応は、どのように行っているのか伺います。 ② 市道が通行止めとなった際、市役所内や関係機関などと、どのように情報共有を行うのか伺います。 ① 令和8年7月17日の豪雨における避難所の開設、避難情報の発令及びホームページへの情報掲載について、一連の対応に対する本市の見解を伺います。 ① スマートフォン等で災害情報を収集することが難しい方への対応について、どのように考えているのか伺います。 ② 災害時に必要な情報を確実に得るため、複数の情報取得手段について平時から周知することが重要と考えますが、本市の取組について伺います。 ① 避難情報を受け取った市民が、その時の状況に応じて適切な避難行動を選択できるよう、どのような周知を行っているのか伺います。		

2. 災害時における被災者支援と地域防災力の強化について (1) 被災者の相談・支援体制について (2) 防災倉庫について (3) 災害ボランティアによる被災者支援について (4) 自主防災組織及び地区防災計画について	① 豪雨や土砂災害などにより被害を受けた市民からの相談について、どのような体制で受け付け、対応しているのか伺います。 ② 災害発生後、支援を必要としている被災者の困りごとや支援ニーズを、どのように把握しているのか伺います。 ① 浸水想定区域内に設置されている防災倉庫について、備蓄品や資機材を災害時に確実に使用できるように、今後どのように対応していくのか伺います。 ① 災害発生時における災害ボランティアセンターの開設について、どのような基準や考え方に基つき判断することとなっているのか伺います。 ② 災害ボランティアセンターの開設に至らない場合、支援を必要としている被災者のニーズをどのように把握し、ボランティア等の支援へつなげるのか伺います。 ① 本市における自主防災組織の設立状況及び活動状況について伺います。 ② 自主防災組織が、実際の災害時や災害後に、地域住民の避難や支援などの役割を果たすことができるよう、平時から活動の充実や訓練などを進める必要があると考えますが、本市の見解を伺います。 ③ 令和5年2月定例会における答弁を踏まえ、地区防災計画の策定促進に向けて、今後、地域へどのような働きかけを行っていくのか伺います。 ④ 栃木県が公表した地区防災計画のモデル例や、防災士等の派遣制度をどのように活用していくのか伺います。
--	--